

神縄(かななわ)断層

小山町生土

1. 概要

神奈川県境に程近い、小山町生土で神縄(かななわ)断層を観察することができる。この断層は、伊豆半島を乗せたフィリピン海プレートと陸側のプレートとの境界をなす断層帯の一部と考えられている。おおよその活動間隔は3000年程度、一回の変位量は10m程度といわれている。この場合、断層の活動に伴いマグニチュード8程度の地震が発生すると考えられている。最後の活動は約3000年前とされている。

2. 観察のポイントなど

断層の両側で異なる地層を観察できる。断層に向かって左側が本州側のプレートで、右側が伊豆半島を乗せたフィリピン海プレートとされている。断層を境に左と右で地層が異なることを観察しよう。左側は火山灰が堆積してできた凝灰岩、右側はレキが堆積してできたレキ岩である。現地には小山町教育委員会が設置した説明看板がある。



[神縄断層の露頭]

3. アクセス

県道沼津小山線西沢橋付近から、細い町道に入る。西沢川に沿って林道生土不老山線を北上していくと観察できる。自動車で行く場合は途中にあるゲート前に駐車し、そこから徒歩数分。